35012762-03

暗号化機能について (Secure Lock Manager Easy)

本書は、暗号化機能について説明します。

※ タブレットの場合は、「クリック」を「タップ」に読み替えてください。

暗号化機能の使用するには

暗号化機能の設定は、付属の暗号化機能管理ソフトウェア「Secure Lock Manager Easy」で行います。Secure Lock Manager Easy では、パスワード設定、暗号化モードの変更、自動認証などの設定が行えます。

お使いになる前に

暗号化機能をお使いになる前に、以下のことをご確認ください。

● **パスワードは厳重に管理してください。**
パスワードを忘れた場合、本製品の設定、認証が行えず、保存したデータは一切取り出せません。パスワードを忘れた場合は、本製品を出荷時の状態に戻してください（本製品に保存したデータは全て消去されます）。

●お使いの製品の対応機種、対応 OS でお使いください。

※ Windows Server 2003 R2/Server 2003 の場合、2TB 以下の製品でのみお使いいただけます。また、コンピューターの管理者（Administrator）権限を持つユーザーでログインしないとお使いいただけません。

● パソコンの電源を OFF にしても、本製品のランプが消灯しない場合は、本製品の USB ケーブルを取り外してください。ランプが消灯しないと、暗号化モードにしていてもロックがかかりません。

● 出荷時は、暗号化機能（暗号化モード）が無効です。暗号化モードに変更した場合、パスワードを入力して認証に成功すると、本製品が利用できるようになります。

● Mac でお使いになる場合は、暗号化モードを解除してください。（Mac では、暗号化モードで使用できません）

● 暗号化モードに変更した場合、パスワードを忘れてしまうと本製品に記録されたデータを取り出せなくなりますので、決して忘れないようにしてください。

● パスワードは厳重に管理し、他人に知られないようにしてください。

● 本製品にアクセスできないときは、本製品を一旦パソコンから取り外した後、再度接続してください。また、暗号化している場合は、パスワードを入力してください。

また、スタンバイや休止状態などの省電力モードに移行した場合は、復帰した後にコンピューターに表示されていてもアクセスできないことがあります。
このような場合、本製品を一旦パソコンから取り外したあと、再度接続してください。
（本製品に付属のソフト Secure Lock Manager Easy をインストールしていただければ、この現象を改善できます）

● 暗号化モードから、通常モードに変更した際はデーターが全て削除されます。バックアップを実施した後にモード切り替えを行ってください。

Secure Lock Manager Easy を起動する

Secure Lock Manager Easy は、以下の手順で起動してください。

1　本製品をパソコンに接続します。

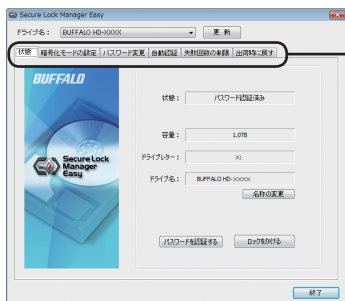
パスワード認証の画面が表示された場合は、パスワードを入力します。
メモ パスワードを忘れて出荷時の状態に戻す場合は、画面を閉じてください。

2　［スタート］ー［（すべての）プログラム］ー [BUFFALO] ー [Secure Lock Manager Easy] ー [Secure Lock Manager Easy] をクリックします。

Windows 8/Server 2012 の場合は、スタート画面の [Secure Lock Manager Easy] をクリックしてください。

Secure Lock Manager Easy が起動します。

Secure Lock Manager Easy の項目説明

Secure Lock Manager Easy の画面上のタブをクリックすることにより、以下の設定を行えます。

設定する項目をクリックします。

● **状態（P3）**
本製品の状態を確認できます。

● **暗号化モードの設定（P3）**
暗号化機能の有効 / 無効を設定できます。

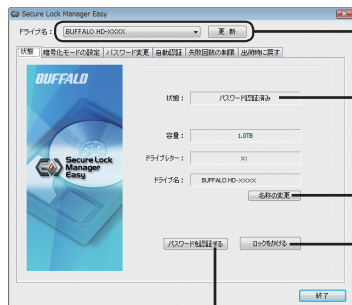
● **パスワード変更（P4）**
登録済みのパスワードを変更できます。

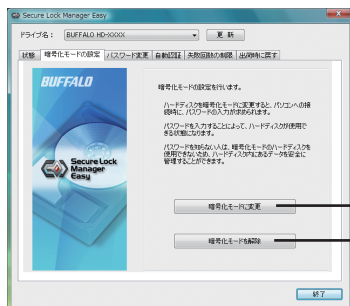
● **自動認証（P4）**
パソコンへの接続時にパスワード入力が省略できます。

● **失敗回数の制限（P5）**
パスワード入力に失敗した場合の動作を設定します。

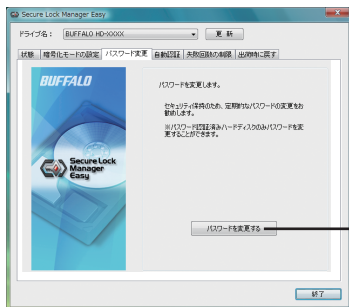
● **出荷時に戻す（P5）**
本製品の設定やデータを削除し、出荷時の状態に戻します。

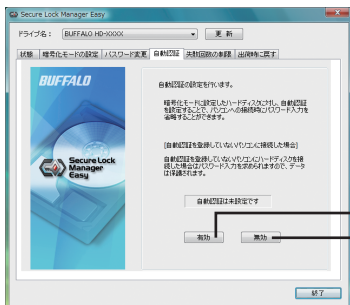
■状態

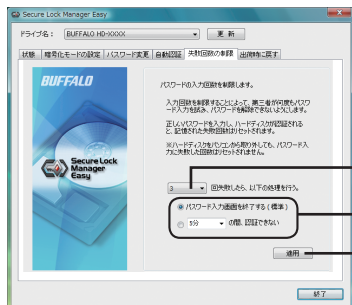
本製品の状態を確認できます。

状態	
通常	本製品にアクセスできます。
パスワード認証前	パスワードを入力するまで、本製品にアクセスできません。
パスワード認証済み	本製品にアクセスできます。

■暗号化モードの設定

暗号化機能の有効 / 無効を設定できます。

■パスワード変更

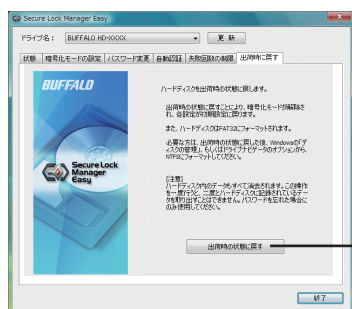
登録済みのパスワードを変更できます。

■自動認証

本製品のパスワード入力方法を設定します。パスワードを自動で入力（自動認証）することができます。お使いのパソコン１台ごと製品ごとに設定を行います。

⚠注意 お使いのパソコンを複数のユーザーで使用されている場合は、自動認証を有効にする設定はお勧めできません。ハードディスク内のデータが通常のハードディスクと同じように見えるため、他の人に閲覧、削除、編集される可能性があります。

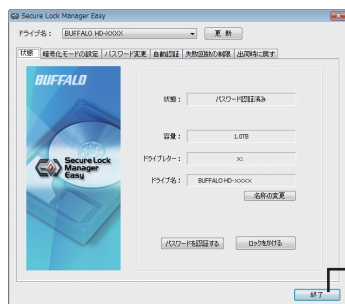
■失敗回数の制限

パスワード入力に失敗した場合の動作を設定します。

失敗回数に達した場合の動作	
パスワード入力画面を終了する（標準）	パスワード入力画面が終了します。認証するには、改めてパスワード入力画面を起動してください。
XX の間、認証できない	XXは「5分」「10分」「30分」「1時間」のいずれかを選択します。設定した時間が経過するまで、認証できません。

■出荷時に戻す

本製品の設定やデータを削除し、出荷時の状態に戻します。

出荷時の状態に戻します。パスワードや記録済みの全データを削除します。
※暗号化モードは解除されます。

Secure Lock Manager Easy を終了する

Secure Lock Manager Easy を終了するときは、画面右下の［終了］をクリックしてください。

認証後にドライブをロックするには

暗号化モードでお使いの場合、Windows で以下のことを行うと本製品がロックされます。

● Secure Lock Manager Easy
（付属ソフトウェア「Secure Lock Manager Easy」を使ってロックすることができます。）

● シャットダウン

● 再起動

● 本製品の取り外し

● スタンバイ

● 休止

●ログオフやユーザー切替では、ロックされません。
一度、本製品をパソコンから取り外してください。

パスワードを忘れたときは（出荷時に戻す）

パスワードを忘れてしまって、どうしても思い出せない場合は、本製品を出荷時に戻してください。出荷時に戻すと、本製品に保存されているデータとパスワードをすべて削除します。

⚠注意 出荷時に戻すと、本製品はNTFS形式でフォーマットされ、本製品に保存されたデータが全て削除されます。出荷時に戻すとデータを取り出せませんので、ご注意ください。

1　本製品をパソコンに接続します。

パスワード認証の画面が表示された場合は、画面を閉じてください。
Windows 7/Vista の場合、自動再生の画面が表示されることがあります。その場合も、画面を閉じてください。

2　[スタート] − [（すべての）プログラム] − [BUFFALO] − [Secure Lock Manager Easy] − [Secure Lock Manager Easy] をクリックします。

Windows 8/Server 2012 の場合は、スタート画面の [Secure Lock Manager Easy] をクリックします。

Secure Lock Manager Easy が起動します。

3

Secure Lock Manager Easy
ドライブ名： BUFFALO HD-XXXX　更新
状態 | 暗号化モードの設定 | パスワード変更 | 自動認証 | 失敗回数の制限 | 出荷時に戻す
BUFFALO
Secure Lock Manager Easy
状態： パスワード認証済み
容量： 1.0TB
ドライブレター： X:
ドライブ名： BUFFALO HD-XXXX
名称の変更
パスワードを認証する　ロックをかける
終了

［出荷時に戻す］をクリックします。

4

Secure Lock Manager Easy

ドライブ名： BUFFALO HD-XXXX 更新

状態 | 暗号化モードの設定 | パスワード変更 | 自動認証 | 失敗回数の制限 | 出荷時に戻す

ハードディスクを出荷時の状態に戻します。

出荷時の状態に戻すことにより、暗号化モードが解除され、各設定が初期設定に戻ります。

また、ハードディスクはFAT32にフォーマットされます。

必要な方は、出荷時の状態に戻した後、Windowsの「ディスクの管理」、もしくはドライブナビゲータのオプションから、NTFSにフォーマットしてください。

[注意]
ハードディスク内のデータもすべて消去されます。この操作を一度行うと、二度とハードディスクに記録されているデータを取り出すことはできません。パスワードを忘れた場合にのみ使用してください。

出荷時の状態に戻す

終了

[出荷時の状態に戻す] をクリックします。

5

以降は、画面の指示に従ってください。

上記の操作を行うと、本製品に保存されていたデータは全て消去されます。保存されていたデータは取り出しできなくなりますので、ご注意ください。

6 「ハードディスクを出荷時の状態に戻しました」と表示されたら、[OK] をクリックしてください。

以上で完了です。しばらくすると、本製品が認識されます。認識されないときは、本製品を一旦取り外し、再度接続してください。

Secure Lock Manager Easy をアンインストールするときは

Secure Lock Manager Easy が不要になった場合は、アンインストールできます。以下の手順でアンインストールしてください。

1. **[スタート] ー [コントロールパネル] を選択します。**
   Windows 8 の場合は、スタート画面で [デスクトップ] を選択→カーソルを画面の右上端に移動(タブレットでは画面右端を左にスライド)して[設定]を選択→[コントロールパネル]を選択します。

2. **[プログラムのアンインストール]、[プログラムと機能]、[プログラムの追加と削除] のいずれかをクリックします。**

3. **[Secure Lock Manager Easy] を選択し、[アンインストールと変更]、[アンインストール]、[削除] のいずれかをクリックします。**

   ※お使いの OS によって、ボタンの名称が異なります。

以降は、画面の指示に従って削除してください。